

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 手足口病

定点当たり2.95人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 咽頭結膜熱

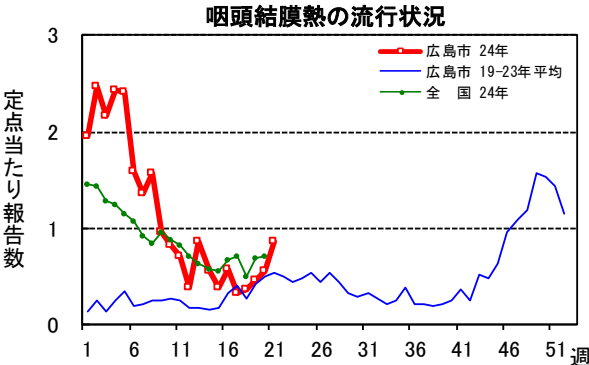
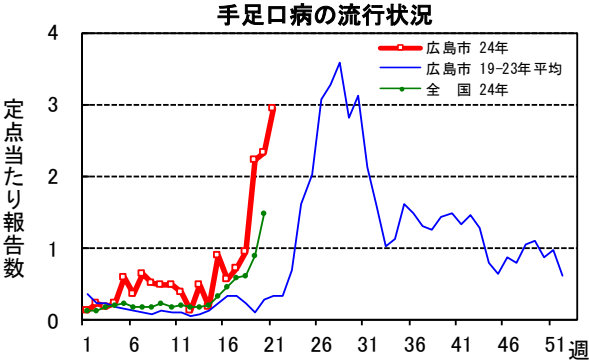
定点当たり0.86人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.77人の報告がありました。例年より多い状況が続いています。咳エチケットや手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.97人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	2	0.06	0.67		小児科	ヘルパンギーナ	5	0.23	0.20	
	新型コロナ(COVID-19)	69	1.97				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	22	1.00	0.77		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	19	0.86	0.54			流行性角結膜炎	9	1.13	0.28	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	4.77	1.58		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	107	4.86	5.34			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	17	0.77	0.27			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	-	
	手足口病	65	2.95	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	6	0.27	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	0.03	
	突発性発しん	5	0.23	0.35							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	40	70歳代・2人
4	レジオネラ症	1	6	50歳代・市外
5	アメーバ赤痢	1	2	60歳代
5	梅毒	2	53	50歳代、70歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	(C O V I D - 19) 新 型 コ ロ ナ 感 染 症	R S ウ イ ル ス	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎	(感 染 性 胃 腸 炎 ロ タ ウ イ ル ス)
報告数	広島市	第17週	13	68	33	7	75	157	7	15	-	7	2	-	1	10	-	-	-	-	-
		第18週	6	55	28	8	33	86	2	21	-	5	-	-	-	19	-	-	-	-	-
		第19週	4	51	22	10	59	97	9	49	-	8	2	1	-	14	-	-	4	-	1
		第20週	4	60	29	12	90	137	3	51	-	2	2	2	-	10	-	-	-	-	-
		第21週	2	69	22	19	105	107	17	65	6	5	5	1	-	9	-	-	2	-	2
定点 当 た り	広島市	第17週	0.38	2.00	1.57	0.33	3.57	7.48	0.33	0.71	-	0.33	0.10	-	0.13	1.25	-	-	-	-	-
		第18週	0.18	1.62	1.27	0.36	1.50	3.91	0.09	0.95	-	0.23	-	-	-	2.38	-	-	-	-	-
		第19週	0.11	1.46	1.00	0.45	2.68	4.41	0.41	2.23	-	0.36	0.09	0.05	-	1.75	-	-	0.57	-	0.14
		第20週	0.11	1.71	1.32	0.55	4.09	6.23	0.14	2.32	-	0.09	0.09	0.09	-	1.25	-	-	-	-	-
		第21週	0.06	1.97	1.00	0.86	4.77	4.86	0.77	2.95	0.27	0.23	0.23	0.05	-	1.13	-	-	0.29	-	0.29
	全国	第19週	0.34	2.77	1.22	0.68	3.55	3.64	0.23	0.90	0.03	0.31	0.11	0.05	0.02	0.74	0.02	0.02	0.19	-	0.01
		第20週	0.28	3.28	1.38	0.71	4.91	4.77	0.16	1.49	0.04	0.32	0.23	0.06	0.02	0.72	0.01	0.04	0.17	-	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
COVID-19	発熱(39.7℃) 下痢 鼻閉 鼻汁 咳嗽	1	2024/04/05	鼻汁(拭い液)	新型コロナウイルス(2019-nCoV) ライノウイルス
感染性胃腸炎	発熱(37.6℃) 嘔吐 下痢 腸重積	0	2024/04/13	糞便	ノロウイルスGII アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1℃) 鼻汁 咳嗽	2	2024/04/10	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
その他の消化器疾患	腸重積	2	2024/04/11	糞便	アデノウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

6月1日(土)～6月7日(金)は「HIV(エイズ)検査普及週間」です！

後天性免疫不全症候群(エイズ)は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV: Human Immunodeficiency Virus)に感染することで引き起こされる疾患で、未治療の場合、感染後、数年から10年程度、症状がない状態が続いた後に発症します。

その間、検査を受けなければ、自分が感染していることや、大切な人へ感染させる可能性があることに気づきません。

感染を早期に発見し、適切な治療を受けるため、そして大切な人を守るためにも、感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、検査を受けましょう。



レッドリボンとは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

広島市では、各区保健センターで、「エイズに関する相談と無料・匿名検査」を実施しています。

詳しくはこちらをご覧ください↓

広島市ホームページ
「HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査」
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>



エイズ予防情報ネット
「HIV検査普及週間(6月1日～7日)」
<https://api-net.jfap.or.jp/edification/week/tokusetsu2024.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp